

4 月度 <b>例会</b> 個人 山行報告書		報告者	津田廣一	参加メンバー	CL: 津田廣一 SL: 三矢十三世 浜島弘一、白井義道、油井武、 塚本英吾、佐溝直彦、不破孝浩、 青柳樺代、渡辺勝利、渡辺育子、 片山嘉夫、竹内幹雄、天野広、 部外者 5 名
		報告日	5/29		
山城	奥浜名湖	山行日	15 年 4 月 11 日 (土)		
山名	尉が峰				
山行目的			春の例会 春ハイキング		

配布先  
総会参加数  
山行: 1  
リーダー  
原紙:  
会事務局

ルート図 (地図を見て正確に)



1/2.5 万地形図: 奥浜名湖

コースタイム (天候: 天気図記号)

4/11 (曇り後晴れ)  
9:40 西気賀駅発  
10:15 三叉路広場 1 本  
11:00 あずま屋(P)1 本  
11:30 尉が峰山頂  
12:20 尉が峰山頂発  
12:40 パラグライダー場  
13:05 尉が峰山頂 1 本  
13:50 北王子コレクション 1 本  
14:55 二月峠 1 本  
15:15 奥浜名湖荘着



天浜線車輛



花桃の花



登山道入口



パラグライダー場からの風景



山桜の木

〈山行報告〉 刈谷出発組の統率を三矢さんに任せ、豊橋からの参加者 (部外者 3 人) と奥浜名湖荘を目指す。駐車場で準備しつつ、豊田組 (渡辺さん等) と合流。準備運動がてら、天浜線の気賀駅まで歩く。1 両のローカル線に乗り込み、次の西気賀駅へ。ここで刈谷組と合流、軽く自己紹介して、出発。スーパー婆ちゃんの三矢さんが、トップでワイワイガヤガヤと賑やかに 19 人を引っ張る。線路わきの道を、田舎風景を楽しみながら進む。北へ向きを変えると、緩い傾斜となり、汗ばんでくる。みかん畑を眺めながら、ゆっくりと登る。天気を心配したが、持ちそうだ。と言うより、晴れてきた。登山道へ入る手前で上着も脱いで、分け入っていく。下見の時、満開だった花桃もピークは過ぎるも、まだまだ綺麗だ。登山道へ入ると、適度な木陰で歩きやすい。緩傾斜と平坦な道が続く、枝越しに見える浜名湖の景色を楽しむ。三叉路を過ぎた広場で 1 本、大きな松ぼっくりを、孫の土産に拾う人も。行動食を皆で分け合って、御馳走に預かる。汗が引いてから歩き出すと、時折、わらび等の山菜も顔を出し、女性陣が摘みながら登っていく。冗談を言いつつの登りは、シニアと言えども、まだまだ元気だ。引佐峠への分岐も過ぎて、少し降って登ると、あずま屋へ到着。トイレ休憩も兼ねて 1 本。駐車場もあり、ここまでは車で来る事もできるが、頂上までのアクセスが短すぎる。ここから、最後の急傾斜が待っている。獅子落としの岩場を攀じ登って、少し行くとウリ坊親子が待っていた (頂上です)。頂上に居

合わせた方に、全員写真を撮って頂き、ベンチに腰掛けて、昼食タイムとなった (差し入れの空も少し頂戴)。一息ついた所で、パラグライダー場迄ピストン (中々、到着せず、苦情続出)。後は、一気に奥浜名湖荘まで下山と思うも、最後は疲労困憊の方も出て、OB会には、"コース長過ぎ" と、お小言を頂いた。最後は、慌ただしく奥浜名湖荘で展望風呂へ入っての解散となった。

〈リーダー所見〉 珍しく、JR・ローカル線を使つての山行で、それなりに楽しんで頂けたかな? と、思っています。下見を 2 回 (それぞれに楽しんで下見しました) 行つての山行であったが、まだまだコースが長すぎた様で、お疲れの方が結構、出た様です。又、最後が慌ただしくなってしまったのが、残念でした。パラグライダー場までと欲張って時間配分を間違えたのが反省点です。



尉が峰山頂で  
ハイチーズ

確認  
(リーダー)  
津  
15/05/29  
田  
作成  
(報告者)  
津  
15/05/29  
田